

選手と一般運営者のための SI講習会

大阪大学・ふるはうすOLC・OLCレオ・京葉OLC

石塚陽広

2025/03/12

新人教育とかに使うのは大丈夫ですが、2次配布はお控えください。

SIの種類について

差し込み用のSIカードと
タッチフリー対応のSIACがある。

- ▶ 差し込み用

SI番号1-7,999,999

9,000,000-9,999,999

- ▶ SIAC

SI番号8,000,000-8,999,999

注意点

要項にSIACに対応しているか書く

例：タッチフリー対応

タッチフリー機能は使用不可

申込時にSIカード・SIAC・Eカードを

間違えていないか確認する

スタート前のユニットたち

- ▶ クリア
SIカードの記録を消す
- ▶ チェック
SIカードの記録が消されていることの確認
タッチフリーの電源ON
- ▶ SIACバッテリーチェック
SIACの電池残量が問題ないか確認
- ▶ SIACテスト
タッチフリー機能が作動しているか確認
挿し込む必要なし



スタート前の注意点

SIカードが反応している間（SIACの音が鳴っている間）は他のユニットに挿さない。
特にクリア→チェックの間が短いとタッチフリーの電源が付かないことがある。

オンラインコントロールのチェックはスタート枠に入るときに挿す。
→自動でmulka cloudの出走チェックをしてくれる



スタート時

SIのスタートユニットは挿した瞬間に計時開始

運営

→スタート枠から一歩進んだ場所にスタートユニットを置く

選手

→事前に（10秒前から）挿さない

基本上書きなので、間違えて挿してももう一回挿せば問題ない



競技中

反応の音をちゃんと聞く

挿し込みの場合はユニットの反応音と光
タッチフリーの場合はSIACの反応音

反応音がしない場合はピンパンチをする。

フィニッシュ

走り抜けフィニッシュは挿し込む必要なし
運営は走り抜けフィニッシュでも、フィニッシュユニットは用意しておく。
(挿し込み使用者には必要)

タッチフリー機能はフィニッシュユニットで
オフになる

フィニッシュを5秒以上開けて2回行くと、
後の方が採用される。



その他

設置時の注意点

ユニットに貼ってあるシールと、画面に表示されている番号、役割が一致しているか

役割

CN：コントロール

CLR：クリア

CHK：チェック

FIN：フィニッシュ



その他

SIユニットの片づけ方

- ▶ 液晶表示が消えていることを確認する
- ▶ 挿し込み口が重ならないように交互に向けてしまう

